

建設すすむ ムシ河橋梁

ムシ河はインドネシア共和国スマトラ島パレンバン市の中心を流れる大河で、これに橋梁を架設することはスカルノ大統領が1960年の大統領選挙の際公約された同国念願の大工事であった。

それを賠償工事の一つとして富士車輛KKが受注、同社が上部工製作を、KK大林組が下部工事（橋台2基、橋脚6基）、および架設工事を担当し、1962年4月着工した。橋長353m、型式はプレート・ガーダー橋、大型船舶の航行を妨げないよう中央橋桁（スパン78m）は昇降式とされており、橋面は中央に車道、両側に自転車道、歩道を備えた幅員22mの大橋梁である。

この河は水深17~19m、雨期には流速毎秒4mという激しい流れとなるが、下部工の杭打ち、および注入コンクリートによる躯体工事はすべて終了し、桁架設も順調に進行中で1965年4月ごろ完成の予定である。

使用フィルム・フジカラー



写真提供・株式会社 大林組